

災害対策調査特別委員会請求資料 土のうステーション・止水板について

1 土のうステーションについて

(1) 事業概要

地域の自助・共助を推進し、住民の自主的な浸水対策の一つとして、家屋への浸水被害の防止・軽減のため、適時使用できる土のう100袋を収納した「土のうステーション」を浸水予想される場所に配置している。

(2) 配備状況（平成22年度～）

- ①区内の道路・公園・公共施設等 63箇所
（各5kg 30袋、10kg 70袋）
- ②使用実績 1,370袋（平成30年度）

(3) 点検・補充

年1～2回及び台風、豪雨後の随時



2 止水板設置工事助成について

(1) 止水板

豪雨時に建物などへの水の浸入防止するために
出入り口など設置する板（右写真参照）

(2) 助成制度（平成24年度～）

止水板の設置及びこれに伴う関連工事を行う場合に、工事等に要した費用の2分の1以内で、1つの建物について50万円を限度に助成している。

(3) 助成実績

制度制定の平成24年（2012年）から14件を助成。



土のうステーション設置案内図

令和元年6月現在

● 設置箇所

